

—学校だより—



星と稲

魚沼市立伊米ヶ崎小学校
令和7年2月20日(木)NO.10
TEL: 025(792)0089
Fax: 025(792)3222
Eメール
imegasaki-syo01@
uonuma-school.sakura.ne.jp

「誹謗中傷」について

校長

「誹謗中傷」を検索すると、「人や企業の社会的評価を低下させるような根拠のない悪口やデマを言いふらしたり、それらをインターネット上に投稿したりして、人格を攻撃する行為」とありました。誹謗中傷に関連する記事や報道を目にする機会が増え、今では大きな社会問題になっています。

誹謗中傷が起きやすい場として挙げられるのが SNS です。SNS 上では、匿名性が守られるため、面と向かっては言えない攻撃的な言葉が発信されやすいのです。SNS は便利ですが、その匿名性が悪用され、今もどこかで誰かが誹謗中傷により深刻なダメージを負い、最悪の場合、自らの命を絶ってしまっている現実があります。

では、なんで利害関係のない人に向けて誹謗中傷をするのでしょうか。誹謗中傷を発信する人には以下のような特徴があるとされています。

- ・ ストレスを発散したい。
- ・ 優越感を得たい。
- ・ 愛情不足を補いたい。
- ・ マウンティングを楽しみたい。
(他人を見下して優越感を得る)

要するに、「今の自分が置かれている状況が面白くない人」「今の自分に不満を抱えている人」が誹謗中傷を発信し、自分の気持ちを安定させようとしていことが考えられます。

しかし、「ストレスを発散したい」とか「他人より少しは良くありたい」というような気持ちは誰しも少なからず

抱く感情であると思います。私自身がそうです。でも、誹謗中傷はしません。なぜか。

誹謗中傷する人とならない人の違いには、自分の心の中に「自尊感情」「自己有用感」というものがどれだけあるかが関係しているのではないのでしょうか。言い換えると、「今の自分が好きだ」「自分は人の役に立っている」「今の自分に満足している」と思えるかどうかということです。日本人は外国に比べ、自尊感情が低いというデータがあります。ちゃんとできているのに自分自身を過小評価してしまう人が多いのです。誹謗中傷を発信してしまう人の心には、今の自分に満足できない「自尊感情の低さ」が微妙に影響しているのではないかと思えてなりません。

「自尊感情」を高めるには、本人なりの成功体験は必要ですが、それよりも「きみはすごいなあ!」「きみのおかげだよ、ありがとう!」「きみのことを信じているよ」と、周囲から褒められたり、感謝されたり、信頼されたりする体験の積み重ねも大切ではないかと思えます。

周囲とのこれらの関わりが、自分の良さへの気付きを促し、自信を醸成し、自尊感情を高めることにつながっていくものと考えます。

学校は、子どもの可能性を信じ、日々の教育活動を通して、子どものやる気を引き出し、褒めて伸ばすことを重視しています。

子どもたちの自尊感情を大きく膨らませて、「失敗した人」「過ちをおかしてしまった人」を批判するのではなく、その人の気持ちに寄り添える心をしっかりと育みたいものだ、誹謗中傷が溢れる今の世の中を憂いつつ、ふとそんなことを考えました。

～お願い～

市内小中学校でインフルエンザが流行っており、学級閉鎖の学校も出てきています。当校では、まだ流行の兆しはありませんが、予防への取組は大切です。ご家庭におかれましても、引き続き、帰宅後の手洗い、うがい、十分な睡眠等、予防への声掛けをお願いいたします。



【魚沼市小学校親善クロスカントリースキー大会】

2月5日（水）、魚沼市小学校親善クロスカントリースキー大会が薬師スキー場で行われました。当日は、雪が降る中での開催となりました。開会式等は特になく、9時30分に5年男子のレースが始まりました。15秒間隔で順番に次々と勢よくスタートしていきます。みんな練習の成果を発揮しようと力強く滑り出していきました。

約2kmのコースを滑り、ゴールが近づいてくると、ラストスパートする選手を応援が支えます。「がんばれー!」「ファイト!」と、たくさんの応援がゴールを目指す選手の心に響きます。応援が選手の背中を押し、みんな最後の最後まで全力を出し切ってゴールすることができました。

伊米ヶ崎小の5・6年生は、4年生もいっしょに「課外クロカン部」として週に2日程度、練習してきました。この日は、その練習の成果を発揮する場でした。雪が降る厳しいコンディションの中でのレースでしたが、5・6年生全員がエントリーし、自分のめあてに向かって、もてる力を発揮して、滑ることができました。みんな本当によく頑張りました!



【アルペンスキー教室(3~6年)】

2月12日（水）と14日（金）にアルペンスキー教室を実施しました。会場は、12日が小出スキー場で（午前中のみ）、14日は須原スキー場（1日）でした。

今年度は、2月上旬の大雪の影響で、例年よりも積雪が多く、すべてのコースが滑走可能であり、両日ともに概ね天候に恵まれ、活動するには良いコンディションでした。

スキー教室では、技能別に3~5人で1グループを編成し、教職員や保護者ボランティアさん、インストラクターさんの指導のもと、グループごとに分かれて練習しました。

すべてのコースが滑走可能なので、混雑することなく、ゆったりと間隔をあけて、自分たちの技能に合ったペースで滑ることができました。魚沼の冬を思いっきり楽しんだ2日間でした。

須原スキー場でのカレーは格別でした。



ご多用の中、平日にも関わらず、たくさんの保護者の方からボランティアとしてご協力いただきました。皆様のおかげで子どもたちは、安全な環境の中で安心してスキーを楽しむことができました。ありがとうございました。

<3月の主な予定>

- 4日（火）六年生を送る会
学年懇談会・PTA 委員会総会
- 5日（水）児童朝会（委員会引継ぎ式）
- 6日（木）委員会（今年度最終）
- 12日（水）卒業式練習（3限）
- 17日（月）年度末大清掃（～19日）
卒業式練習（3限）



- 19日（水）6年生の終業式
- 20日（木）祝：春分の日
- 21日（木）第78回卒業証書授与式
- 24日（月）3学期終業式（下校11:50）
- 25日（月）離任式（下校11:00）



※春休み（～4月9日）